



第3回城・まち刈谷デザイン会議
(刈谷市駅周辺まちづくり懇談会)

令和7年7月16日(水)
19時～20時30分

於 刈谷西部市民館

Instagramのフォローをお願いします！



@SHIRO_MACHI_KAIGI

会議の案内などを投稿していきます。

皆様フォローをお願いします😊

■第1回目【R7.2.2[sun] 15:00-17:00】

懇談会キックオフ

①主催者による趣旨説明

- ・ 刈谷市まちづくり推進課：趣旨説明

②地域住民による地域の話

- ・ 大野地区長：市駅周辺の歴史
- ・ 十念寺副住職の母：地域への思いのお話し

③まちづくり実践者によるまちづくりの実例解説

- ・ 水野氏：近隣エリアでのまちづくりの実例（線路下など）
- ・ みどりや都築氏：近隣エリアでのまちづくりの実例（県内商店街など）



参加者所感

- ・ 進め方や手順についての説明が不足している。
- ・ 会議を通して何をするのか、ゴールがどのあたりにあるのか、どういうメンバーが参加しているのかなど、基本的な情報が少なすぎる。
- ・ 刈谷の歴史やその他のまちの事例説明は良かった。



■第2回目【R7.3.22[sat] 14:00-17:00】

①刈谷市による趣旨説明

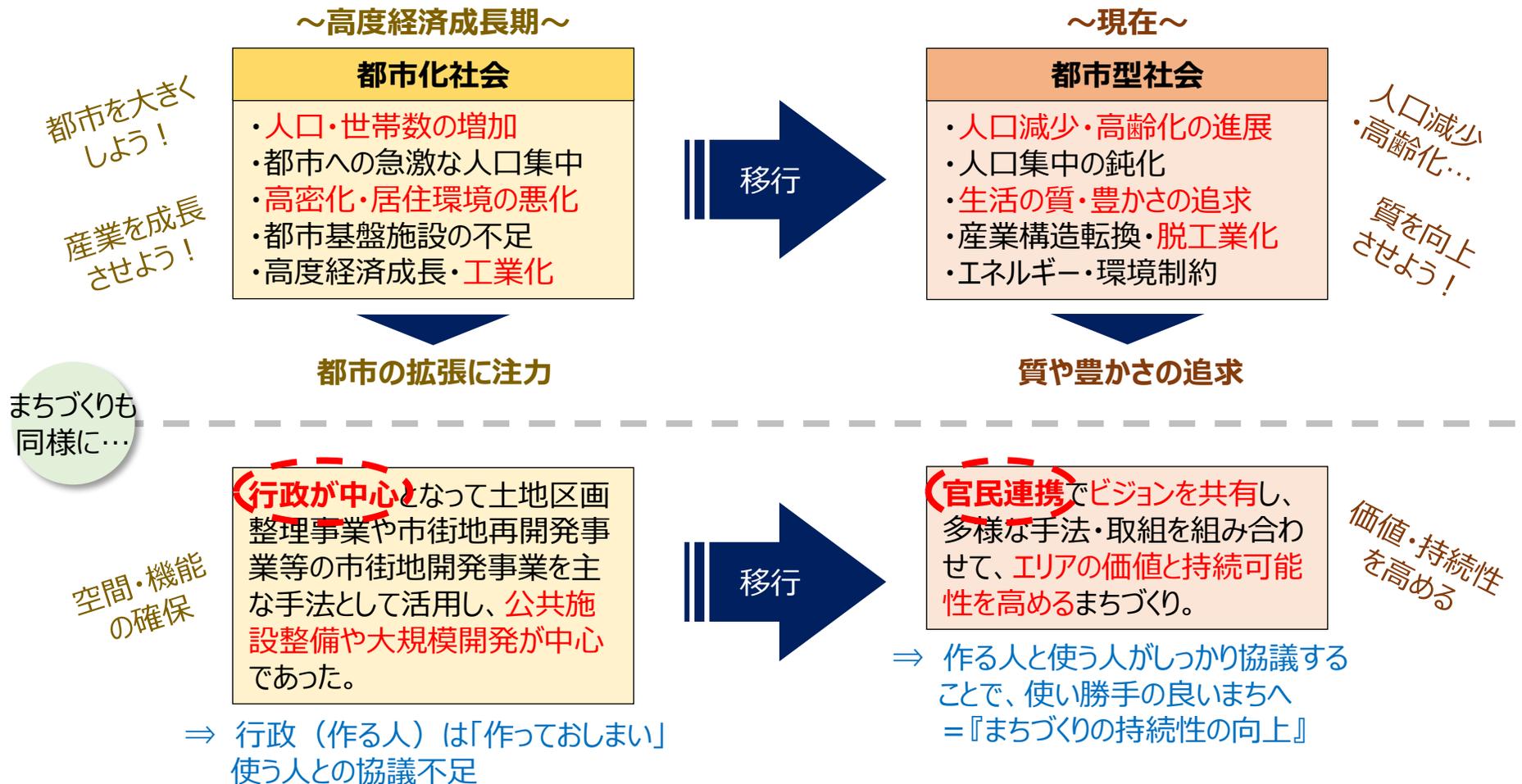
②グループに分かれてまち歩き

③グループ毎にまちづくりマップを作成（地域の魅力と改善点の洗い出し）

■第2回目【R7.3.22[sat] 14:00-17:00】

①刈谷市による趣旨説明（概要・一部改変）

まちづくりの流れの変化



■第2回目【R7.3.22[sat] 14:00-17:00】

①刈谷市による趣旨説明（概要・一部改変）

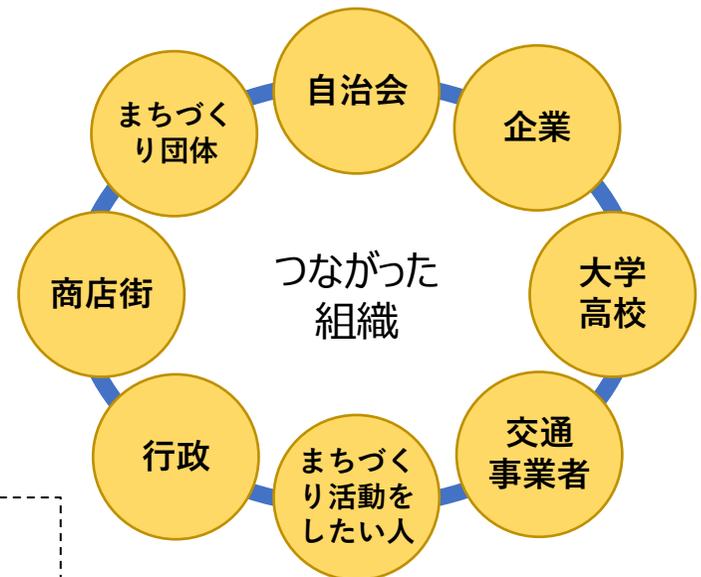
刈谷市駅周辺の現状と課題

- ✓ 昔の面影がなくなり、昼夜ともに人通りが少なく、**閑散**としている。
- ✓ **お店も減り**、居住者、来訪者の憩いの空間がない。
- ✓ 亀城公園、歴史的・文化施設（歴史博物館、郷土資料館など）が多数存在しているが、**まちづくりに反映できていない**。
- ✓ 駅前の再開発など基盤整備は進められているが、その他**まちづくりとの連携が弱い**。

刈谷市としての考え



まちづくりを行おうとしている人がバラバラに動くのではなく、みんなで同じまちの未来像（ビジョン）を描き、活動をしていきたい。



1, 2回目の振り返り

■第2回目【R7.3.22[sat] 14:00-17:00】

②グループに分かれてまち歩き

③グループ毎にまちづくりマップを作成（地域の魅力と改善点の洗い出し）



■まちづくりマップ（あなたがお考えになる地域の魅力と改善点を図面に書いてください）
○：魅力箇所 ×：改善箇所

あなたがチャレンジしたいまちづくりの取り組み	
① 内容:	場所:
② 内容:	場所:
③ 内容:	場所:

エンターテインメント
ライオンズ刈谷亀城公園
亀城公園
刈谷市立亀城小学校
刈谷市郷土資料館
都興食品加工
ファミリーマート刈谷
映画館
利用者 映画館以外 楽しい

② 交通
駐車場
公園がある。休む。駐車場
下に地下駐車場？

① 不動産屋の視点
・内装が汚くない？
・駐車場が広い
・下はいつか使えるから
白く借り？ 法個人所有？

つながる
歴史
歩道
良い
再利用
A
B
C
D
E
F
G
H
I
J
K
L
M
N
O
P
Q
R
S
T
U
V
W
X
Y
Z

■第2回目【R7.3.22[sat] 14:00-17:00】

【第1グループ】

■こども保育

- ・駅前に保育所(一時託児)、学童保育

■犬さんぽ

- ・市駅前から亀城公園までの犬の散歩道
- ・犬の散歩がしやすい公園…犬コミュニティの形成
- ・ペットショップ+ドッグラン(タワーマンション付近)

■バスケット・マルシェ

- ・於大通りでバスケットイベント
- ・駅前でマルシェ開催
- ・駅前に芝生広場+町の案内所+屋台

■その他

- ・亀城公園でイベント開催、犬の散歩

【第2グループ】

■カフェや生鮮市場をつくる(タワーマンション等)

- ・若い人が友達と過ごす空間(カラオケ、カフェ)
- ・お寺でのマルシェ開催

■空き店舗や空き地を活用した新たな居場所づくり

- ・新しい文化と歴史的文化のつながり
- ・交通手段との組み合わせ
- ・外観を変えないリノベーション

■その他

- ・歩きをサポートする案内板の設置、ウォーキングコースの定着
- ・郷土資料館、椎の木屋敷跡にもっと人が集まる仕掛け
- ・お寺参り(周遊)
- ・旧町名の表示(まちの歴史の記憶)

【第3グループ】

■不動産屋的視点を持った空き店舗の活用

- ・強い個人商店を立地させる
- ・強い個人商店が入居しやすい町をつくる
- ・安くて雰囲気の良い町をつくる
- ・シャッター通りの再生

■人集めの仕掛け

- ・亀城で大きなイベント、駅前で小さなイベント(エンタメが大事)
- ・一時預かり駐車場の充実
- ・刈谷市駅まえから亀城公園までつながる歩きたくなる道
- ・駅前に映画館があるのに、他に立ち寄り場所がない

■歴史探索を案内する

- ・郷土資料館、城町交流施設等に歴史探索を案内する常設案内所を設置、喫茶店も併設
- ・城下町の路地空間の魅力アップ、再発見
- ・亀城公園の集客機能の拡充

まちづくりの目標

【地域全体】

■まちなか散歩道を創る

- ・新たな文化と歴史文化を繋ぐ
- ・“犬の散歩”を基本コンセプトに
- ・散歩時の休憩場所の配置

【刈谷市駅前】

■空き店舗を活用する

- ・空き店舗を借り上げて居場所づくり(保育所、カフェ、カラオケ等)
- ・屋台マルシェ、ミニイベントの開催

【於大通り・銀座通り】

■まちづくりイベントを開催

- ・道路空間を活かしたバスケットボールイベント等の開催
- ・タワーマンション、UFJ銀行周辺の広幅員歩道等を活用した広場づくり

【亀城小学校周辺】

■城下町の歴史を継承する

- ・歴史探索ルートを選定と案内板設置
- ・郷土資料館、城町交流施設等に歴史探索を案内する常設案内所を設置、喫茶店も併設

今年度のスケジュール

7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
● 第3回 (7/16) 『過ごしたくなる駅前 について考えよう』	● 第4回 (8/27)	● 第5回 (9/17)	● 第6回 (10/15)	● 刈谷市駅前 社会実験イベント (日にち未定)	● 第7回 (12/17) イベント反省会 ↓ 刈谷市への要望	● 第8回 (1/21)	● 第9回 (2/18) 内容未定	● 第10回 (3/18)
	└──────────────────────────┘ 刈谷市駅前イベントについてみんなで考えます					└──────────────────────────┘		

今年度の活動目標

- ① 刈谷市駅周辺を一緒に盛り上げる**仲間集め**
- ② 市駅周辺エリアは広いため、**まずは駅前エリアから着手**
⇒ 来年度以降、順次エリアを拡大していきます
- ③ 社会実験イベントを行い、**成功体験を得る**
⇒ 今年のイベントは小さいものになるかもしれませんが、経験を積んでいき、エリアや規模を拡大していきましょう

～ 何故『駅前エリア』からなのか？～

理由1 本エリアの玄関口だから

理由2 再開発が現在進行形で進んでいるから

11月の社会実験イベントを通じて、刈谷市駅に必要なモノを抽出し、令和9年度に行う駅前広場の工事に対して刈谷市へ要望を提出します。

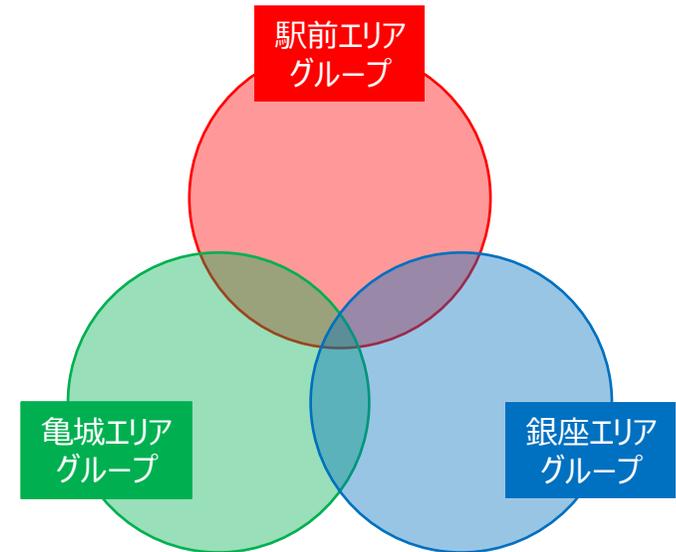
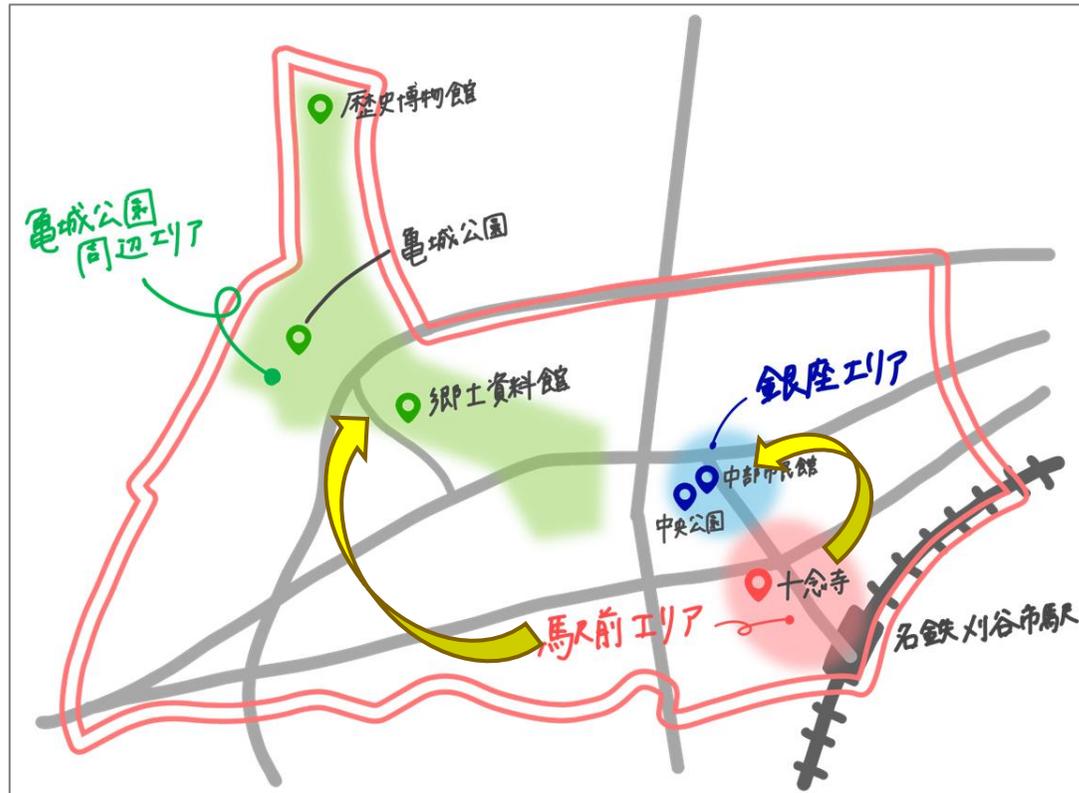
令和8年度以降の考え方

① 検討するエリアを広げつつ、各エリアで社会実験イベントを継続する

⇒ **仲間・関係人口集めを継続し、最終的には各エリアのグループが自走していくことを目指す**

② エリア毎に差別化を図り、それぞれの色・ストーリーを持たせることにより、魅力あるエリアにしていく

当面の目標は、まちづくり活動が自走していける状態を作ること。
そのためには仲間集めが非常に大切です。



会議のルール（共通認識）

① エリアに住む人や活動している人の意向は最大限に尊重する

まちづくり実践者の理想のまちと、エリアに住む人や仕事をしている人の理想のまちは異なっているかもしれません。私たちのやりたいことを前面に出すのではなく、エリアに住む人等の意向を最大限尊重していきましょう。

② 議論する内容は“誰かにやってもらうこと”ではなく“自分たちでやっていくこと”

城まち会議で議論することは実際にこれからやっていくことです。まちづくりを“他人事”ではなく“自分事”として捉え、みんなで実現に向けて動いていきましょう。

③ まちづくりは一日にして成らず・小さく始めて大きく育てる

まちはすぐに変わりません。5年後、10年後…の長期的な展望を持って活動をしていきましょう。

④ 議論する内容はソフト・ハードは問わない

議論する内容自体に制限をかけることはありません。ただ、ハード面の内容は金銭的に難しいことも多いです。城まち会議内でできないことは、取りまとめて市役所の担当部署へ共有させていただきます。

- ソフト：みんなで実施していきましょう！
- ハード：できることはやっていきましょう！大規模なものは取りまとめて担当部署へ共有いたします。

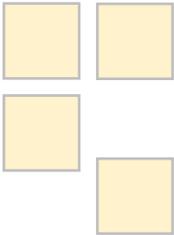
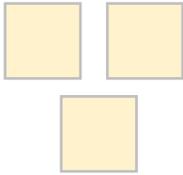
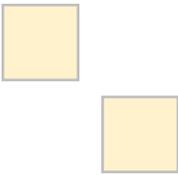
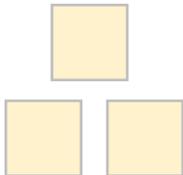
■第3回『過ごしたくなる駅前について考えよう』

【ワークショップの概要】

本エリアの玄関口となる刈谷市駅周辺で何をしたいか、何があったら良いのかについて、ディスカッションを行う（グループ数：3グループ、1グループ6～8人程）。

【ワークショップの進め方】

- ① 参加者それぞれがヤング世代、子育て世代、マスター世代の3つの世代になりきり、それぞれの世代の駅前の過ごし方について、「誰と」「何する」を付箋に書き出す。
- ② 書き出した過ごし方を日常、非日常に分けて模造紙に貼っていく。
- ③ 最後に各グループ発表を行う。

ヤング世代		子育て世代		マスター世代	
日常	非日常	日常	非日常	日常	非日常
					

■誰と■
家族と
■何する■
マルシェに
参加する

←グループ毎に作成